

授業科目名	ヒロシマのこころ(広島医療と健康)				科目コード		
担当者	古澤敏昭、河野修興、田丸政男、山本カヨ子、他				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前	授業回数	15	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 被爆地広島の医療の歴史を振り返りながら、医学、看護学、リハビリテーション学などの関係学問領域を勉学する意義や実際に看護師としてこれらの学びを社会で活かすための方策について学修する。それぞれの領域の現場で活躍している医療人や患者さんの生の声を拝聴すると共に、原爆資料館や被曝証言などを現地で学ぶ事により、将来、医療人として活躍するためのより良い動機づけとなる。							
(到達目標) 1. 医療人としての心構えが理解できる 2. 人類を脅かす原子爆弾や放射線被爆について知ることが出来る 3. 患者を取り巻く他職種とのチームケア・連携の大切さが理解できる 4. ヒロシマの地で看護を学ぶ意義を知り理解することが出来る							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講師の先生の講義内容により授業形態が異なります。指示を守って静かに受講して下さい。なお、学外学習では規律を遵守し、看護学生としての品位を崩さないようにして下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	講義の進め方及び学外学習のオリエンテーション					田丸政男	
2	看護のこころ					山本カヨ子	
3	原爆被爆体験Ⅰ					古澤敏昭	
4	原爆被爆体験Ⅱ					古澤敏昭	
5	学外学習 原爆資料館見学・被曝証言を聴く会・国立追悼記念館見学及び碑めぐり・まとめ					田丸政男	
6						山本カヨ子	
7						看護教員数名	
8							
9	医療者に託す思い～がん患者の立場から～					中川 圭	
10	森林資源を活用した健康保持増進への取り組み					小林敏生	
11	難病に挑む作業療法					丹羽 敦	
12	文章論					瀧口恵美ほか	
13	医療管理者から、看護学生に期待すること					浅原利正	
14	原爆被爆と毒ガス曝露による健康障害					河野修興	
15	広島の医療と健康 総合討論					田丸政男、山本カヨ子	
成績評価方法							
<p>期末試験：全体の講義終了後レポート試験 レポート：毎回授業終了後 200 文字程度の感想文を提出 授業態度：特に態度が悪ければ評価しない 受験資格を満たしていない場合も評価の対象としない。</p>							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							